



■ 採用職種

事務職

■ 入庁年度

令和元年度

■ 所属

建設経済部
観光交流課 観光交流係

■ これまでの経歴

平成31年4月～令和5年3月
健康福祉部
福祉課 障害福祉係

令和5年4月～現在
建設経済部
観光交流課 観光交流係

■ 就職先として井原市を選んだ理由は？

大学卒業後は、岡山市の民間企業で働いていました。結婚を機に妻の実家近くでの転職を検討していた際、井原市の求人募集を目にし、美星町や井原デニムなど、魅力あふれるコンテンツが盛りだくさんの井原市に心を惹かれ、転職を決意しました。

■ 仕事内容は？

観光コンテンツのプロモーションなど、井原市の魅力発信が主な業務です。井原市は、「天文王国おかやま」や「井原線沿線観光連盟」など、複数の外郭団体の事務局を担っており、近隣自治体と連携しながら各市町のPRを広域的に効率よく発信することに努めています。また、観光交流課は国際交流に関する窓口でもあり、インバウンド向けのSNS発信など、国内外を問わず、井原市の魅力発信を行っています。

ある1日のスケジュール

時間	仕事内容
8:30	出勤、メールチェック 決裁文書の確認
10:00	事業者との打ち合わせ
12:00	昼休み
13:00	外郭団体打合せ（オンライン）
15:00	PRイベントへの出展準備
16:00	書類作成、事務作業
17:30	退庁



▲横浜で開催された“お城EXPO”のブースにて高越城（神代町）の見どころを伝えています。

■ 職場の雰囲気は？

職場の雰囲気、居心地は最高です。上司が部下の意見に対して前向きな回答をしてくれ、間違いに対しても軌道修正できるようなアドバイスをくれるため、若手職員がミスを恐れず、何事にも積極的に挑戦できる環境が整っています。困ったことや問題が生じた際も、上司や職員同士で気軽に相談しやすい雰囲気があります。

■ 仕事のやりがいとは？

市の財源が限られる中、いかに効率的かつ効果的に井原市の魅力発信ができるかを考え、実行していくことにやりがいを感じています。また、財源確保のため、外郭団体と連携して、国や県の補助金を活用するなど、「無ければ探して取りに行く！」という、この部署ならではの積極的なスタンスは、自己成長にもつながります。

■ 仕事の中で困難だったことは？

前の部署から異動した当初は、観光の「か」の字も分からないような素人であったため、企業とやり取りする際に飛び交う言葉の意味すら分からず、観光商談などでも苦戦していました。けれども、上司や同僚にフォローしてもらいながら経験を積んでいく中で、徐々に苦手意識も克服でき、現在は企業などと友好な関係を築くことができています。

■ ワークライフバランスは？

日頃から業務の進捗状況を部署内で共有することで、急遽の用事などで必要な時に有給休暇を取得できています。また、保育園に通う子どもが2人おり、共働きのため、子どもの体調不良時や妻の仕事が忙しい時期は早退するなど、業務時間の調整も可能です。

■ 井原市で働く魅力は？

仕事を通して、井原市の歴史や文化に触れることで、これまで気づけなかったような井原市の魅力に出会うことができます。さらに、自分が携わっている仕事は井原市の魅力発信につながっていることに、誇りと喜びを感じています。